

千代田区教育委員会 殿

千代田区立麹町幼稚園長

浅川 宏 印

## 平成26年度教育課程について（届）

このことについて、千代田区立学校の管理運営に関する規則に基づき下記のとおりお届けします。

### 記

#### 1 教育目標

##### (1) 幼稚園の教育目標

人権尊重の精神を培い、意欲的にものごとに取り組み、心豊かで思いやりのある幼児の育成を目指す。

- ◎ なかよくあそぶ子ども（友達と心を通い合わせる子ども）
- たくましい子ども（元気に遊び、目的に向かって粘り強く取り組む子ども）
- かんがえる子ども（興味・関心をもって様々なことにかかわり工夫する子ども）

##### (2) 幼稚園の教育目標を達成するための基本方針

共育の視点に立って幼稚園・家庭・地域がそれぞれの役割を果たしながら協力し合い、未来を築く幼児の望ましい成長を促し、豊かな人間性を育むため、以下の基本方針を設ける。

- ◎ 幼児一人ひとりの特性に応じ、発達に即した指導を行うことで、主体的に遊びに取り組み、自分の力を十分発揮する楽しさが味わえるようにする。
- ◎ 友達とのかかわりを遊びや生活の中で豊かに展開し、友達と協同する力を育む。
- 幼児の発達に即した計画の下、体を動かしたくなるような環境を工夫し、心身共に健康でたくましい幼児を育成する。
- 四季の変化を感じられる自然環境や試行錯誤しながら遊びを作り出せる環境を整え、興味や関心に基づいた直接的な体験を通して、知的好奇心や探究心を育む。
- 小学校や保育園・認証保育所との連携や交流活動を計画的に実施し、人とかかわる楽しさを味わう中で、道徳性の芽生えを培い、様々な人への親しみの気持ちや思いやりの気持ちを育む。
- 学校評価を教育内容の改善に生かし、家庭や地域の教育力を生かした教育活動を展開する。

## 2 指導の重点

## (1) 教育課程の編成、実施にかかわる指導の重点

心揺さぶられる体験、面白いことを繰り返す体験、ものや人とのかかわりから自分のやり方や思いを表していく体験などを重視し、それら一つ一つが豊かな経験として幼児の心身に蓄えられ、生活や遊びの中で活用していくことができるようにする。

- ◎ 主体性を発揮する遊びを充実させ、自分の目的に向かって粘り強く取り組む力を育てるとともに、友達と協同的な遊びを楽しむ中で、様々な感情体験を通して自他を尊重し、人とかかわる力を育てる。(人間関係)
- 友達や教師に自分の考えを話す経験や遊びの中で友達と話し合いをする経験を積み重ね、言葉に関する感覚や言葉で表現する力を育む。(言葉)
- 発達に即した運動的な遊びを計画的に取り入れるとともに、室内外の運動的な遊びを見直すことで、健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う。(健康)
- 体験したことや感じたことを表現したり、考えたことを実現したりする喜びを味わう活動を通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。(表現)
- 季節行事やお茶会など、日本の伝統文化にふれる機会を大切にし、豊かな情操を培う。(環境)
- 稲や野菜の栽培を通して、環境教育や食育の推進を図るとともに、幼児の豊かな感性や自然を大切にする気持ちを育む。(環境)

## (2) 環境の構成

- 遊びが豊かに展開するための必要な経験を計画的に取り入れ、行事中での経験と日々の保育との関連を見直しながら保育を進めたりし、幼児が主体的に遊びを展開していく力を育む。
- 遊び中での異年齢の交流の充実に向け職員間の連携を密にし、一人ひとりの幼児が安心して過ごしながら、様々な刺激を受け、人とのかかわりや経験を豊かにできるようにする。
- 多様な運動遊びを経験できるよう幼児の発達特性に合わせた魅力ある環境を整えるとともに、体育館・校庭・温水プールなどの施設や専門家を活用した指導を取り入れ、幼児が自ら体を動かす意欲を育てる。
- 保護者や講師の協力のもと、自然環境の充実を図り、親子での稲作体験、園庭での自然物を使った遊びなど様々な自然体験を積み重ねる中で、生物の多様性や共生などを感じ取れる豊かな感性を育む。
- 地域や保護者の協力のもと、お茶会や鏡開きなど伝統文化にふれる活動を充実させ、日本の伝統文化のよさや豊かさを感じ、季節感を味わえる潤いのある生活や遊びを保証する。
- 特別養護老人ホーム・商店など地域へ積極的に出向き、様々な人と触れ合う機会を計画的に設定し、地域の様々な人への親しみや思いやりの気持ちを育む。

## (3) その他

- 多様な状況を想定した避難訓練の実施、月一回の安全点検や環境整備の徹底などを通して、職員の危機管理意識の向上を図るとともに、幼児が安全な生活に必要な習慣や態度を身に付けられるよう指導を充実させる。
- 小学生との交流や合同行事を計画的に行い、憧れの気持ちや年長者とかかわる心地よさを感じられるようにする。
- 近隣保育園5歳児同士の交流を計画的に実施する中で、教育内容の理解や教材の工夫など教師間の連携を密にし、幼児にとって互恵性のある活動になるようにする。
- 保小との教職員間で互いの教育内容を理解し合い、協力して幼児や児童を育てていくために、共通認識に立った交流活動の推進に努める。
- 保護者の保育参加活動や自由参加型のボランティア活動などを通して、保護者が園児全員のすこやかな成長を見守り、子育ての楽しさを感じられるようにする。
- 地域協力者やスクールカウンセラーとの懇談会、司書による親子読み聞かせなどを行うとともに、子育て支援として、預かり保育を充実させていく。
- 教育活動の様子や幼児の成長の姿などを発信するとともに、地域や保護者からの声を教育活動に反映させ、幼稚園・家庭・地域が協力し合って幼児を育成する体制を強化する。
- スクールカウンセラーや発達支援アドバイザーとの連携を深め、幼児を多面的に理解し、発達や特性に応じた指導の充実を図る。
- 園内研究 主題「友達とかかわる力を育む」